



2011年 長崎大学病院初期研修が変わる！

① プライマリから3次まで

プライマリ研修に力を入れます！

長崎市夜間急患センターでの、小児の発熱や皮疹など、成人の頭痛や腹痛など、本当のプライマリ患者への対応の仕方が学べます（月2回程度）。大学病院での救急車対応や、2～3次救急患者へのファーストタッチ（月2回程度）が学べます。2011 年秋より外傷センターが立ち上がり、外傷のプライマリが学べます。



② がっちり指導

指導体制が変わります！

研修医のみなさんへ、3つの方面からフォローをおこない、がっちり指導します。

① フィードバックシート

各科の指導医は、毎月、研修医へフィードバックシートで良かったところ、努力ポイント等を的確に伝え、指導します。これで、自分の何が良く、他に何が必要なのかが、わかると思います。

② メンター

様々な悩みや相談にメンター（きさくな相談係のようなもの）が親身に対応します。研修医が、メンターを選ぶことができます。気のあった先生に、いろいろ相談できることで、さらに研修が充実すると思います。

③ 研修医教育専属の部署（医療教育開発センター）の指導医
研修医教育専属の部署（医療教育開発センター）に指導医4名が配置されています。ポートフォリオ（勉強ファイルのようなもの）で研修医の研修進捗をしっかりとチェックします。研修医のみなさんが、勉強すればするほど、質が高くなる研修を保証します。

③ どんどん学べる環境

頭を鍛える！

電子教科書の Up To Date や携帯からアクセス可能な Dynamed で、何でも調べられます。カンファランス前に要チェック！

研修医のためのグランドラウンドでは、各科の若手の先生からトピックスや研修の必須事項を、気楽に学べます。

腕を鍛える！

実力アップセミナー（年に4～5回）では、国内外より研修医教育のカリスマを招聘し、ワークショップ形式で、様々なことを学べます。

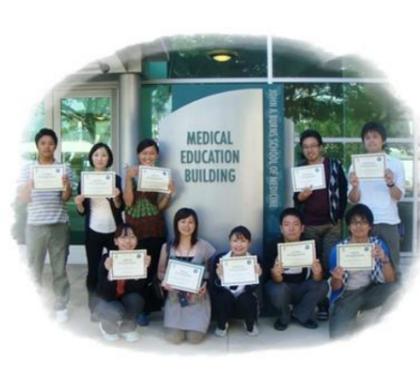
シミュレーションセンターは、24 時間利用できます。採血、縫合の基礎から、IVH、内視鏡、エコーまで学べます。

英語を鍛える！

週1回の無料英会話教室。短期ハワイ大学救急シミュレーション研修。英語でのカンファランスのある診療科、留学生との交流、英語を学ぶi-PAD プロジェクトなどなど・・・英語を学ぶ環境も整ってます。



あとは、あなたのヤル気次第！



④ 少人数制のプログラム

小人数のマンツーマン教育！

基本的に各診療科への配属は、研修医の希望に沿って行ないます。さらに研修医3～4名以内の小人数です。研修医ひとりに指導医ひとりが原則です。十分な症例と十二分な指導が受けられます。長崎県の12病院、県外の10病院の中の関連病院での研修も、少人数制です。関連病院の教育は、大学教員が定期的に巡回して、質を保つようにしていますので、御安心ください。

また、平成23年度より、感染症のスペシャリストを目指す感染症特化プログラムと大学院へ入学しながら研修ができるアカデミックプログラムが新設されます。他にも、内科特化コース、外科特化コース、産婦人科特化プログラム、小児科特化プログラムがありますので、早い段階からスペシャリストへの道が目指せます。

⑤ ハード&ソフト

平成22年7月に新研修医室が完成！

1人1台の机、電子カルテ端末、食事スペース、仮眠室、研修医専属事務1名、他の大学や市中病院からの視察が絶えない程、充実した研修医室になりました。

「新病棟や新外来棟も新しくなり働きやすい！」「日本の最先端に行く電子カルテは、非常に使いやすい！」と評判です。

住宅手当または借り上げ宿舍、研修医専用無料駐車場、年間5万円相当の医師賠償保険が病院負担、超過勤務手当など・・・処遇面でも決して悪くはありません。

長崎大学病院の医師・歯科医師・看護師・薬剤師・コメディカル等の教育部門が集結し、平成23年2月1日に【医療教育開発センター】が発足しました！

医師育成キャリア支援室は、医療教育開発センターの中の後期研修部門となりました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します♪

後期研修もCHANGEし、高評価！

長崎大学 & 佐賀大学等の専門医育成事業



「出島発、肥前の国専門医養成プログラム」が、A判定を頂きました！！

本事業は、複数の大学病院がそれぞれの得意分野を活かしながら、連携して若手医師の教育・研修を行うことにより、高度な治療ができる医師（専門医や臨床研究者）を育て、国民に質の高い医療を提供すること、また、若手医師が研修の一環として地域の医療機関を循環することにより、地域の医師不足対策にも貢献することを目的としています。（文部科学省 大学改革推進等補助金による補助事業です。）

この事業の進捗状況について、書面評価及び実地調査が行われ、現時点での進捗状況や成果などの確認とともに、当初目的通りの達成が可能か否かについての中間評価が実施され、**長崎大学は5段階（S,A,B,C,D）のA判定**をいただきました！

<総合評価結果>



申請担当大学	プログラムの名称	総合評価
長崎大学	出島発、肥前の国専門医養成プログラム	A
筑波大学	東関東・東京高度医療人養成ネットワーク	A
群馬大学	関東・信州広域循環型専門医養成プログラム	A
東京医科歯科大学	都会と地方の協調連携による高度医療人養成	A
九州大学	北部九州における循環型高度医療人養成事業	A

S判定	該当なし
A判定	5大学
B判定	10大学
C判定	6大学
D判定	該当なし

<評価内容>

○専門医養成を、医局単位から病院長下の専門部署の担当とした。大学内の医局の壁を取る意識改革への取組が進んでいる。本事業の趣旨に添って前向きに取り組んでいる。

→長崎大学は医局の垣根が低い！

○研修医、指導医を含め、大学間の相互連携に努力している。連携大学との相互補完的乗り入れが実質化しており、その成果は評価できる。大学連携の具体的な成果がみられる。

→実際に、他大学へ短期研修に行った人からも大変好評です！

○コーディネーターも積極的に活動し、十分に機能している。

○大学病院のマッチング者数、後期研修医数、関連病院への短期研修者が増加した。

→初期・後期研修担当指導医・コーディネーターが魅力あるプログラムを実現！

○総合診療医養成コースが機能している点では評価できる。

○地域の特性を生かして事業を進めている。離島や地域医療に対する危機感を認識し、学内でのコンセンサスも得られている。

→離島やへき地での研修でも、専門医は修得できます！

○修練医の意識調査や病院側のアンケートを行い、修練医の環境改善を図っている。

→各医局から提出された85項目の改善要求のうち、18項目を業務移譲、20項目を業務移譲予定とし、若手医師の雑務軽減に成功！約1年後に行ったアンケートで、約70%の人から以前より働きやすくなったという回答をいただきました！

○本プログラムの事業を検討する「肥前の国協議会」に、行政の長崎県、佐賀県が参加している。また、長崎県で、研修教育の充実を目指して、長崎大学と全ての教育基幹病院が協議会（新・鳴滝塾）を作り、長崎県も参加している。行政が関わっている点は特色があり、評価したい。

→長崎県医師臨床研修協議会（新・鳴滝塾）のHPも見てね！（URL：<http://www.narutaki-jyuku.jp/>）

○ホームページが非常に充実しており、何をやりたいか、どういったことをやったかというのがよくわかる。

→ブログも見てね♪新着情報をほぼ毎日更新しています！

○長崎大学中心の計画という問題はあるが、大学連携、地域連携を柱にした成果が上がっていると考られる。

→これからも、他大学との連携を深め頑張ります！



長崎県とキャリア支援室にて、**長崎県女性医師復職支援事業情報誌「Next」**を発行しました！

これから医師を目指す高校生・医学生や研修医・女性医師の皆様には、是非読んでいただきたいと思っています。

3月中に配布予定ですので、楽しみに♪

なお、PDF版は当室HPの新着情報欄からもご覧いただけます。



皆様のご支援・ご協力のお陰です！！
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

ありがとう



長崎大学病院 医療教育開発センター 医師育成キャリア支援室

TEL : 095-819-7847 FAX : 095-819-7882

MAIL : career@ml.nagasaki-u.ac.jp

HP : <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/career/>

BLOG : <http://careerngs.exblog.jp/>